

“めざそう笑顔のまちづくり”

まちまんざわと

3月号

令和2年3月1日

発行 NO.156

三本木まちづくり協議会

発行責任者 会長 本田恭子

「地域のことを 地域みんなで考え 地域みんなで解決していくために」

雪ににっこり 三本木スキー教室



2月8日(土)、9日(日)の2日間、オニコウベスキー場を会場に三本木スキー教室が開催されました。三本木スキー協会と三本木公民館共催で毎年行われている恒例行事ですが、今年は雪不足で開催を心配する声が聞かれる中、待ちに待った積雪で子ども達はにっこり(^_^♪ 小中学生は2日間で延べ29名が参加しました。前日に降った雪でゲレンデコンディションは最高！！スキー協会会員の指導のもと、子ども達はスキーを楽しんでいました。



「ともしてね あかるい笑顔を 町中に」
「ありがとう 言葉一つで みな笑顔」

青少年のための大崎市民三本木会議



1	日	
2	月	ひまわりっ子クラブ（閉校式）
3	火	ひま：ひなまつり誕生会
4	水	支：すぐすぐサロン（O） 小：6年生を送る会
5	木	ひま：避難訓練（地震） まち協：役員会（保健福祉センター2Fまち協事務室）
6	金	ひま：お別れ会
7	土	中：卒業式
8	日	
9	月	中：振替休業日 支：すぐすぐサロン（1）
10	火	
11	水	支：すぐすぐサロン（2）
12	木	小：虹の会読み聞かせ
13	金	中：1・2年授業参観、学年PTA
14	土	ひま：修了式
15	日	まち協：講演会・拡大委員会 13:00～ふれあいH
16	月	中：公立高校合格発表
17	火	児：児童クラブ入所説明会
18	水	
19	木	小：卒業式 まち協：委員会（保健福祉センター2F研修室） 春分の日
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	ひま：修業式 児：児童クラブ退所の会・お別れ会 小：修了式 中：修了式
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	中：離任式
31	火	

ひまのすけくん
作：だいご

屈辱(くつじょく)の冬



三本木まちづくり協議会拡大委員会 &講演会開催のおしらせ

三本木まちづくり協議会では、地域で活動している部会構成団体の活動を支援することを目的として平成30年度より「三本木手あげ事業交付金」を導入しています。加えて来年度から、新たに導入する部会予算の折衝制など、支援体制等についての説明を含め、まちづくりへの理解を深めていただきたく「茨城県生涯学習社会研究会会長の長谷川幸介氏の講演会」と「三本木まちづくり協議会拡大委員会」を下記日程にて開催致します。

- ◆開催日 3月15日（日）
- ◆時 間 午後1時～3時30分（受付：12時30分）
- ◆場 所 三本木総合支所「ふれあいホール」

■第1部 講演会 午後1時～2時30分 「まちづくりを考えよう！やってみよう！」

茨城県生涯学習社会研究会会長
長谷川 幸介氏

《プロフィール》

1950年函館市生まれ
1975年茨城大学人文学部経済学科卒業
専門分野は教育法学、生涯学習論、地域社会論
書籍「今を生きる人間学」「混住列島に生きる」「町内会物語」「生涯学習とまちづくり」など
※講演会は一般の方も自由にご参加いただけます。

（入場無料）

■第2部 拡大委員会 午後2時30分～3時30分

- ・三本木まちづくり協議会の活動
- ・三本木手あげ事業交付金について
- ・大崎市チャレンジ事業交付金と
ステップアップ交付金について
- ・三本木まちづくり協議会部会予算の折衝制について

- ◆問合せ先 三本木総合支所 地域振興課

☎52-2111

きょうDo!(協働)のまちづくり文化祭 in 岩出山

2月2日(日)岩出山公民館スコレーハウスにて、きょうDo!（協働）のまちづくり文化祭 in 岩出山が開催されました。きょうDo!（協働）のまちづくり文化祭は大崎市内のまちづくり協議会が毎年持ち回りで開催しています。昨年は三本木を会場に「若者が頑張れるまちづくり」をテーマに開催しました。岩出山が担当の今回は岩出山地域の活動紹介、ワールドカフェでは地域の課題と未来について話

し合いを行いました。三本木からはまち協委員5名と元まち協委員1名、職員2名の計8名が参加しました。



三本木の キラリんさん VOL 2

写真は、南谷地にお住いの伊東慶次さんが制作したものです。

30歳代から鳴子などに行った際に旅館などの庭を参考に我流で行っているそうですが職人にお願いしたと見間違うほどの手際の良さと眺めです。

縄も細めの縄でわざわざ購入に田尻まで出かける凝りようです。南谷地の県道中新田線を通行の際に観ることが出来ます。

☎0229-52-6609

三本木でキラキラ☆彌しているステキな技ありな職人さんや仕事人、アートな人を紹介するコーナー。

2回目の今回は冬の風物詩である雪吊りの技ありな職人の紹介です。



まち協会議報告

三本木まちづくり協議会では、毎月委員会を開き話し合いのもと事業を進めています。

第10回 三本木まちづくり協議会委員会

- ◆開催日 1月23日（木）
- ◆場 所 三本木保健福祉センター
2階研修室 16名出席

●協議事項

- 「手あげ事業申請と予算折衝について」
- 「講演会・拡大委員会について」
- 「次年度事業計画について」
- 次回委員会 3月19日（木）19時～
※自由に見学できます。



まち協委員 コラム

今年はこれまでにないくらいの暖冬で、冬らしい寒さも長続きせず、「雪がなくて楽でいいわ」などと喜んでばかりでいいのか、落ち着きません。と、この原稿を書いていたら、新型コロナウイルスの感染が止まりません。

連日の報道でも宮城県にはまだ感染者が出ていませんが、中国との航空便がありますのでやや不安です。古川のドラッグストアでもマスクは品薄でした。特効薬はないようでのインフルエンザと同じように、うがい・手洗い・アルコール消毒をしっかりするほか手立てはなさそうです。

この冬大崎管内で火災が多発しています。亡くなった方も複数いらっしゃいます。原因もいろいろあると思いますが、普段の生活での火災に対する注意力が求められます。

新型コロナウイルスや火災等、災害に対する対処の仕方はまず、噂に惑わされることなく、自分はどうしたら一番良いのか考えなければなりません。自分の身は自分で守る、いわゆる自助です。次に共助、最後が公助。これは昨年の台風19号や東日本大震災で皆さんが経験したことではないでしょうか。

By とみけん



協賛広告 もしもの時心強い、安心とまごころのサービスでお応え致します。《会員募集》

各宗葬儀 有限会社 儀典社

〒989-6321 宮城県大崎市三本木字西沢2-5
TEL 0229-52-2401 FAX 0229-52-2706

自宅葬（密葬）プラン	98,000円から
会館葬（密葬）プラン	128,000円から
会館葬（家族葬）プラン	200,000円から

ひまわり園

◆保育参観・講演会◆

1月18日に保育参観が開かれ、親子で一緒におにのお面を作りました。その後、3歳以上児の保護者を対象に「子育ての楽しさとストレスの受け止め方」についての講演会もありました。



年長児は修了まで2ヶ月となり、就学を意識した小学校訪問や交通安全の巡回指導を受けました。また、2月3日にはみんなで力を合わせて長のり巻きを作りました。

保育参観で作ったお面をつけて、豆まき会では鬼退治をしました。オダツナー、ほでなす将軍や配下の鬼たちと一緒に記念撮影もしました。



◆長のり巻き作り◆



子育て支援センター

◆すくすくサロン◆ 「雪あそびをしよう」

1月のすくすくサロンは「雪あそびをしよう」、0歳児はびくびくで雪を触っていました、2歳児は園庭の雪を集めて雪だるまを作りました。

9日のなかよし広場では「お正月遊びをしよう」と題し、こま回しや福笑いをして大喜びでした。23日の子育て教室は参加者が輪になってわらべ歌遊びをしました。31日の豆まき会では鬼のお面をつけて、新聞紙で作った豆で「おこりんぼ鬼」や「ねぼすけ鬼」を退治しました。

◆豆まき会◆ 「おには～外、福は～内」



◆わらべ歌遊び◆

◆豆まき会◆ 「おには～外、福は～内」



児童交流センター

◆今回は子どもたちの日常を紹介します◆



感染症が心配される今日この頃ですが、児童交流センターの子どもたちは毎日元気いっぱいです。最近、新しい本やおもちゃが続々入荷し、順番待ちが必要なほど大人気！その中でも特に反響が大きかったのは『ワミー』という、同じパーツを組み合わせて色々なものを作れるブロック遊びです。ペンギンをピンに見立ててボウリングをするなど、子どもたちの発想でどんどん発展しています。土曜日や夜など、比較的利用人数の少ない時間には、ドミノを出して遊んだりと、お迎えまでの時間を充実させています。

行政区だより

仲町区 新年会

1月13日(月)、区民新年会が保食八幡太鼓と合同で開催されました。子ども達の餅つきから始まり、あんこと納豆もちの他に、今年はご婦人方のご協力でお雑煮やを用意して頂き、臼でついた餅は、とても塩梅が良く、みんなでお代わりしてご馳走になりました。



南町区 第2回意見交換会

2月9日(日)、三本木総合支所に於いて、「台風19号被害に伴う廻山地区意見交換会」が行なわれ、住民22名が参加しました。2回目となる今回は、前回を踏まえ「国交省への排水ポンプ車出動要請」「防災調整池の取り組み」「住民の意向調査結果」について報告がありました。さらに今回出席された市長・国交省担当者へは、参加住民から様々な意見・質問・要望も出され「今後も被害が予想される」「被災の片づけで仕事ができなかった」「肉体的・精神的疲労・恐怖・財産価値の低下」「移転したい」「子どもと安心して暮らせる事が出来ない」など、涙ながらに訴える姿も有りました。3回目は3月末に開催の予定です。



南新町区 ビンゴ大会

2月1日(土)、南新町子供会では、小学新入生・小学6年生の歓送迎会を開催しました(役員父兄も含む)。まずは、6年生のお別れの挨拶と、新小学入学生徒の紹介をした後に皆さんで、ビンゴ大会で楽しい交流会を開きました。

最後に高橋会長さんから「一年間の協力の感謝とこれから的新入生の皆さんも、勉強と仲良く友達づくりに頑張ってください」の言葉で終了しました。



新町区 ボウリング大会・新年祝賀会

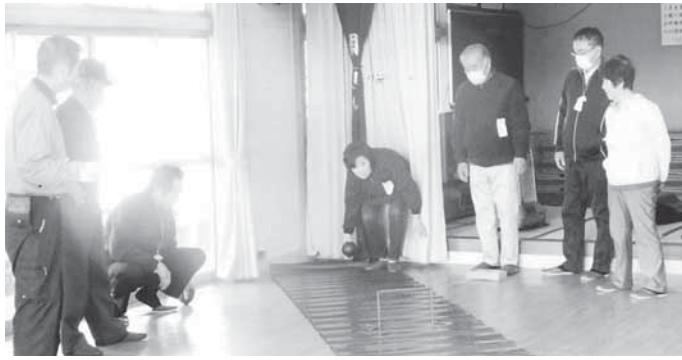
1月19日(日)、30名が参加し、冬場の健康つくりの一環として新春ボウリング大会が開催されました。今年の運だめしとばかり真剣な眼差しで一球入魂、ストライク、ガータの歓声とため息が交互する中、運動不足やストレスの解消となりました。引き続き、コミュニティセンターにて51名が参加して新年祝賀会が開催され、区長より、【元気な新町・安心な新町・笑顔あふれる新町】と挨拶があり、高橋さんの「今年も健康で明るい一年になる様に」との乾杯の音頭で祝宴に入りました。語り合いながら杯を酌み交わし、カラオケで楽しい祝賀会になりました。



坂本 ボウリング大会

2月9日(日)、上三区コミュニティセンターに於て、老若男女15名が参加し「スマイルボウリング大会」を開催しました。

一投毎に周りの参加者から歓声が上り、大変盛り上がりました。ボウリング終了後、参加の女性の有志に調理して頂いた豚汁をご馳走になり、冬の寒い1日を温かく、楽しく過ごしました。



三本木スキー協会 交流会 in ZAO



1月25日(土)、26日(日)の両日、三本木スキー協会の交流会が山形ZAOスキー場で行われました。宿泊組15名、日帰り組5名あわせて20名が参加しました。

雪不足ということで、コースは全面滑走可能とは言い難く一部土の見えるコースもありましたが好天に恵まれ、参加者たちは爽快にスキーを楽しみました。



花おりの湯 ワークショップ フラワーリースを作ろう

誰でも簡単に本格的な“リース”が作れる
～自分好みのリースで彩ろう～



3/29 (日)
10:00~12:00

協賛広告

温泉で湯~たり過ごしてみませんか 温泉de会議プラン

お得なセット料金
入館料金+花膳+貸切個室
お一人様 2,000円 (消費税込み)

- 【申し込み人数】 10名様以上
【利用日時】 平日限定4時間まで
●完全予約制 (1週間前まで)
●無料送迎バス (片道30分以内)
●お客様11名で、お一人様無料

- ◆場 所◆ 営業場 すいせん
◆定 員◆ 先着15名様限り
◆参加費◆ 1,000円(材料代)
◆申込方法◆ フロント又はお電話で
※当日の持ち物はとくにありません

●入館料は別途お支払い下さい●
お子さまの参加もOK 茶菓をご用意してお待ちしております／

花膳メニュー

1. 特製釜めし
2. 茶碗蒸し
3. 揚げ物
4. 煮物
5. 汁物



TEL 0229-52-5505
営業時間／10:00~21:00
休館日／毎月第3火曜日

1988年7月に三本木で初のJETプログラムによるALTが設置されました。それ以来2007年に帰国した小野剣さんまで、13人のJETプログラムからのALTが三本木に勤務しました。その後合併して大崎市になり、ALTは派遣会社から派遣されるようになりました。ALTとして三本木に住んでいた外国人たちとの交流を、記憶をたどりながら思い出を語ろうと思います。

ALT編 リラ・ブル

4人目のALT (ELT) はオレゴン州ユージン出身のリラ・ブルさんでした。ブロンドで背が高くスリムでいかにもアメリカ人という感じの人でした。活動的で、歌が上手く、歓迎会でアカペラでアメイジング・グレースを歌ってくれたのが印象的でした。三本木英会話クラブに何度か来てくれて、そのあと私たちに講師のように英語を教えてくれました。

芋煮会をしたり、テニスに行ったり、栗原の陶芸家のところへ行ってみたりしました。ALTの仕事は1年で終了し一度帰国したあと、1997年青森で1年間、その後再来日して2000年は新潟で1年英語の講師をしました。その時三本木にも2度やってきて、新潟から帰国するときは私の家に10日ぐらい滞在していました。アメリカに帰ったあともまめに手紙をくれて交流が続いています。

現在カナダに住んでいるリラさんから、三本木の思い出を綴ったメールが届きました。A4で3枚のながい英語の文章なので要約して掲載します。彼女の手紙には1991年から1年間三本木にいた思い出が書いてあります。8月に来日した時に縁の田んぼに囲まれたアパートの自然がいっぱいだった印象的な景色。当時の学校での学生服で応援の練習している姿。職員室でおせんべいやサキイカ、クジラの刺身などの初めて食べた日本の食べ物。同僚や先生たちが、ディズニーランドや平泉に連れていってくれた旅行。お正月、家によんでくれてお雑煮をごちそうしてくれたこと。なすの漬物の作り方を教えてくれたことなどの思い出が綴ってあります。冬のアパートでの石油ストーブやこたつのとまどい。お風呂の入り方がよくわからなくてシャワーが寒くて困ったこと。（私がお風呂の入り方を教えたことを思い出しました。）湯船にお湯をためてつかることを覚えて、今でもプールのあのジャグジーにつかると日本のお風呂を思い出すそうです。秋の小金色の田んぼの風景。軒下につるした大根や干し柿。桜の季節に食べた桜餅。1日3回食べるおいしいササニシキのごはん。野外で食べたおにぎり。文化祭でのお茶席。そして、日本の文化や習慣を教えてくれようとするおもてなしの心に感動したことなどが綴ってあります。リラさんはカナダで元気に暮らしています。リラさんの英語の手紙は私の店と三本木総合支所のエントランスに掲示します。コピーが欲しい方は連絡いただければ対処します。

取材・文責：伊東 仁



三本木中学校卒業生と

Dear Sanbongi town,

My name is Leila Bull and I am from the city of Eugene in the state of Oregon in the United States of America. I can't believe it's been nearly 3 decades since I was an Assistant English Teacher at Sanbongi Junior High School during the 1991-1992 school year on the Jet Program. Since then, I visited Sanbongi twice in 1997 when I was an English teacher in Hiraizumi, Aomori-ken and then again in 2000 when I was teaching in Niigata city. On both visits, I was graciously hosted by one of Sanbongi's biggest English language enthusiasts, Jin Ito and his family, who I met through the community evening Adult English class I taught in addition to the junior high classes back in 1991.

Jin has been like a diplomat, big brother, counselor, tour guide, and community outreach person for me and so many other foreign visitors who have visited Sanbongi over the years. He and other adult students from our evening community class organized many fun and interesting experiences for me while I was in Sanbongi. A few of the activities English Club members and I participated in were: making onigiri on a birthday picnic, learning about traditional tea ceremony at the community fair, hiking Mt. Funagata, visiting a local potter's kiln and home, eating many Japanese foods and singing karaoke at restaurants, visiting an adult student's rice and beef cattle farm, drinking green tea with gold flecks, and driving to Matsushima to view the interesting coastal landscape and trying the famous local fish cake.

リラからの手紙の一部



英会話クラブのメンバーと



町職員との送別会

俳句

歩くことだけは欠かさず三が日	二本柳力彌
人偲ぶ手で囲みたる冬すみれ	
祝箸まず紅白の膾から	
孫が来て「めっちゃ」連発お正月	
阿部和子	浅川好夫
新庁舎つかい消防出初式	
小寒や母を支えて医院口	
佐藤邦子	鈴木勝也
佐々木和子	
信心深き二代目なりき	
法名に慈山の文字の甚十郎	
三月すぎ卒寿祝の胡蝶蘭	
いまなお萎えず我に元気を	
ゆつくりと遠山里も走り行く	
列車もバスも窓ぎわが好き	
計算しなきやと思う我いる	
阿部郁子	手代木亮一
鈴木眞子	佐々木和子



短歌

春の全国火災予防運動(3月1日~7日)

大崎広域防火標語

声出して 知ろう知らせよう 火の怖さ

【空気が乾燥し火災が発生しやすい時期となります】

火の元には十分にご注意ください！

ガソリンを携行缶で購入される皆様へ

令和元年7月に発生した京都市伏見区の爆発火災を受け、同様の火災を防ぐことを目的に危険物規制の法令が改正されました。

これにより令和2年2月1日から、ガソリンを携行缶で購入する際には①本人確認（運転免許証等の提示）及び②使用目的の確認が義務付けられています。

皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

古川消防署 三本木出張所

「見守り声掛け活動」参加のお願い

日頃は、三本木地域の安全安心に関心を持って頂きありがとうございます。このところ生徒児童を狙った犯罪が、ニュースになっています。そのような犯罪を未然に防ぐ意味でも登



下校時には、三本木交番によるパトロールも行なって頂いています。「地域の子どもたちを地域で守る」為に、これまで活用しておりました、まちづくり協議会安全部会で作成した「黄色いベスト」を活動希望者に提供致します。

生徒児童のご家族や、登下校時にお時間がとれる地域の皆さんに、この活動にぜひ参加して頂きたいと希望します。

◆問合せ先

三本木総合支所地域振興課 ☎52-2111

佐藤 俊一 携帯 090-2844-5612

3~4か月児健康診査 会場変更のお知らせ

令和2年4月より、3~4か月児健康診査の会場が三本木保健福祉センターから古川保健福祉プラザに変更になります。対象となる方（令和元年12月1日以降に生まれた方）には、新生児訪問時等にもお知らせしておりますが、日時等詳細は、4月以降の「広報おおさき」や「大崎市乳幼児健診・相談予定表」をご確認ください。

◆問合せ 三本木総合支所市民福祉課

☎52-2114



三本木学習センター『図書まつり』

◆日時 令和2年3月7日(土)

◆場所 三本木学習センター（北町13-4）

※駐車スペースが少ないので、旧役場の駐車場をご利用下さい。

◆内容

①本のリサイクル市（9時15分～15時）

保存年限の過ぎた雑誌をお譲りします。

（おひとり様5冊まで）

※持ち帰り用の袋を持参してください。

②わくわく工作タイム（9時30分～12時）

折り紙や身近な物を使って、小さいお子様でも作れる工作教室です。

（申込み不要です。どなたでもどうぞ！）

③おはなしの森（9時30分～12時）

『虹の会』のみなさんによる本の読み聞かせです。

（申込み不要です。どなたでもどうぞ！）

④2019年話題の本コーナー

学習センターでは毎月新刊を購入しており、2019年の話題の本も所蔵しています。もちろん貸し出しも可能です。～ぜひ、ご覧下さい～

◆問合せ 三本木学習センター ☎52-5211

休日・夜間診療案内

休日当番医・歯科医及び夜間急患センター等の休日や夜間に於いて受診可能な医療機関の情報を提供しています。（通常診療時間内については、医療機関名等をお知らせしていません。）



◆連絡先：大崎医療圏 ☎0229-24-2267

◆携帯電話からも確認できます。 <https://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/6,22,16.html>

三本木地域のミニ統計

令和2年3月1日現在

人口 7,724人（-12）
男 3,843人
女 3,881人
世帯数 2,689戸（-3）
() は前月との比較

ごみ収集カレンダー

（種別）	（回収日）	左記の回収日が祝祭日でも回収します。
もやせるゴミ	毎週（月・木）	
もやせないゴミ・資源物（リサイクル）	第1・第3（火）	
プラスチック製容器包装	第1・第3（火） ※新町、南新町区は月4回（第1～第4）	

三本木まちづくり協議会

〒989-6321 宮城県大崎市三本木字大豆坂24-3

三本木総合支所地域振興課内 ☎0229-52-2111 FAX: 0229-52-5840

「さんぽんぎねっと」は毎月初めに発行